

災害伝承の取組事例 河内地区自主防災会連合会

概要

平成11年6月29日の豪雨に伴う土砂災害を踏まえ、地域における土砂災害の防止に関する啓発活動等に継続して取り組んだことにより、広島市佐伯区の河内地区自主防災会連合会が、「令和3年度防災功労者内閣総理大臣表彰」を受賞した。
※当団体は、令和3年度土砂災害防止功労者国土交通大臣表彰も受賞している。

【取組の主な内容】

- ・「忘れまい6.29集会」と称した追悼式及び防災講演会を平成11年以降、毎年実施
- ・被災状況の写真や動画、地域住民等の体験談を収録したDVDを作成し、地域に配布
- ・河内地区独自の「わがまち防災マップ」を各自主防災会単位で作成し、全戸配布 等



令和3年10月7日(木)
令和3年度防災功労者内閣総理大臣表彰に係る伝達式

(参考)防災功労者内閣総理大臣表彰の概要

防災功労者内閣総理大臣表彰は、平時における防災思想の普及又は防災体制の整備の面等で貢献し、特にその功績が顕著であると認められる団体又は個人を対象として表彰するもの。

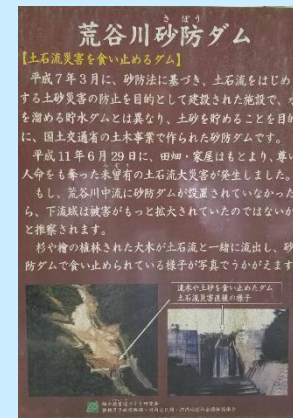
河内地区自主防災会連合会の災害伝承の取組み



当時の各町内の様子や体験談を映像資料化



過去の災害の大惨事を教訓として後世に伝えるため、記録碑を建立



地域の案内看板にも砂防堰堤や石碑等の土砂災害に関係するものを記載